

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
発展数学Ⅱ	選択	2	3	普通科

科目の概要	(1)基本事項と基本的な考え方の把握に重点を置き、段階的な演習を通して、標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになることを目標として入試問題演習に取り組む。			
	(2)4点を重点事項として、練習・実践問題に取り組み、実力を養成する。 ①問題の流れを確認し、見通しをもつ。 ②問題解決の方針や時間を意識し、問題を解く。 ③振り返りを行い、課題を発見する。 ④課題克服の方法を考え、次の問題への取り組みにつなげる。			
教材名	教科書	改訂版 数学Ⅱ・数学B・数学C		
	副教材	シニア数学演習ⅠⅡABC 攻略！共通テストPick Up128 数学Ⅰ+A/Ⅱ+B+C		
担当者	金田 和実・宮野 昌彦・齋藤 晃			
学習到達目標	基本事項と基本的な考え方を把握し、演習を通して入試の標準的かつ重要な頻出問題が完全に解けるようになる。			
学習方法	問題集「シニア数学演習」を用いて解説、演習を中心に授業を進めます。できるだけ予習をして、授業に望むことを期待します。学習内容を定着させるために、特に弱点分野については繰り返し取り組んで基礎演習を深めてください。さらに、問題集「共通テスト」「共通テスト対策直前演習」を用いて、見通しをもって問題を解ける力を養うための実践力、対応力を向上させてください。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	定期考査 確認テスト 長期休業明けテスト 授業での取り組み	定期考査 確認テスト 長期休業明けテスト 授業での取り組み	課題の取り組み状況 授業に対する姿勢 テストに向けての取り組み
	A	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100	評価方法の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。 評価値：70～100
	B	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9	評価方法の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。 評価値：30～69.9
	C	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9	評価方法の目標に照らして、努力を要する。 評価値：0.0～29.9

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	【シニア数学演習】	44 等差数列・等比数列 45 種々の数列 46 漸化式と数列 47 数学的帰納法	2 2 2 2	
5		37 導関数と接線 38 関数の増減・極値 39 最大・最小	2 2 2	平常講習
6		【前期中間考査】 40 方程式・不等式への応用 41 積分の計算 42 定積分で表された関数	1 2 2 2	平常講習
7		43 面積 50 ベクトル 51 ベクトルと平面図形	2 2 2	【夏期講習】 29 点・直線・円 30 曲線と直線 31 軌跡 32 領域・図形と式 + 入試問題
8		52 ベクトルと空間図形 103/104 平均・分散／二項分布 106/107 正規分布／仮説検定	2 1 1	
9	【攻略！共通テスト】 実戦問題 PICKUP 60	【前期期末考査】 108/109 二項分布／母平均の推定 110/111 母比率の推定・仮説検定 62 多項式の剰余 63 3次方程式の解とその個数 67 弦の長さと言域内の点	1 1 1 1 1 1	平常講習
10	【攻略！共通テスト】 実戦問題 PICKUP 60	73 三角関数を含む方程式・不等式 74 三角関数を含む方程式の解の個数 79 指数方程式の解の存在範囲 81 対数関数の最大・最小 88 x軸と曲線で囲まれた図形 89 放物線と接線で囲まれた図形 91 放物線で囲まれた図形 【学年末考査】	1 1 1 1 1 1 1 1	平常講習
11	【共通テスト直前演習】	99 等差数列・等比数列の和 101 漸化式と数列 118 空間における交点の位置ベクトル □ 練習・実戦	1 1 1 6	平常講習
12	【共通テスト直前演習】 冬休み明け	□ 練習・実戦 私大・国公立2次対策 練習・実践問題	6 6	平常講習 平常講習